

2025年度 大谷大学生チャレンジ企画 地域に寄りそうプロジェクト（通称ちいプロ） 募集要項



慶間館
KYOMONKAN
(2018年竣工)



響流館
KORUKAN



尋源館
JINGENKAN



博綜館
HAKUSOKAN

Be Real
寄りそう知性



大谷大学

1. 大谷大学生チャレンジ企画 地域に寄りそうプロジェクト（通称ちいプロ）の概要

ちいプロとは？

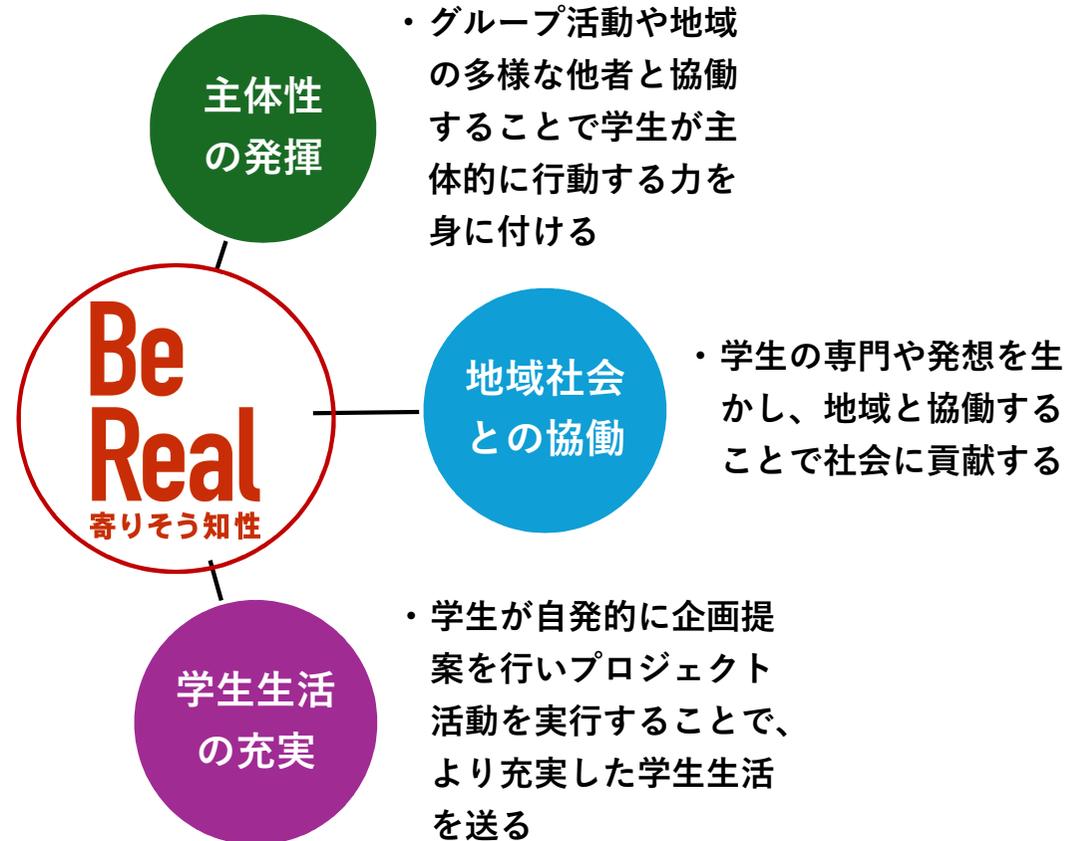
2024年度からはじまった、
学生と地域の人たちが共に学び合い、
育ち合うことで地域連携にチャレンジ
する課題に取り組む学生を支援する
「学生企画プロジェクト」です。

選考の結果、ちいプロに採択されると、
活動費として1プロジェクトあたり
最大10万円が支給されます
（最大5グループを採用）。

【参考】2024年度の取り組み例はこちら
(<https://www.otani.ac.jp/renkei/index.html>)



実施目的



<将来像/実現した姿>

適切な世界観をもって、未来を、主体的かつ柔軟に生きることのできる人物を育成する。多様な存在が相互に敬愛する社会の実現を目指し、学生・教職員が挑戦しながら共に学び合える場としての大谷大学を創る。

(大谷大学第2次中長期プラン「グランドビジョン130 (2022~2031) より)

2. 助成対象となるプロジェクト

学生と地域の人たちが共に学び合い、育ち合うことで地域連携にチャレンジする課題に取り組むプロジェクト、かつ以下のいずれか1つ以上に関連する活動を募集します。

連携先や活動場所の例：

寺院、NPO、社会福祉施設、図書館、博物館、学区、商店街、保育園・幼稚園、病院、子ども食堂、無料塾など



歴史・文化

文化や歴史への理解を深め、魅力を伝える活動
(活動の例：地域にある史料の整理、お祭り・地蔵盆支援、民話の収集・編さんなど)



共生社会

地域や他者と交流し、多様性への理解を広げる活動
(活動の例：コミュニティカフェの運営、商店街の活性化、廃材を利用したアップサイクルなど)



グローバル

異なる文化を持つ人地域との架け橋となる活動
(活動の例：観光客向けのガイド、日本語教室、多言語での地域案内や防災情報の作成など)



子ども・教育

子ども達との交流や居場所づくりを通して、
地域の子育てを支援する活動
(活動の例：子ども食堂や子育てカフェの支援、学習支援、遊び場づくりなど)

自由

いずれにも該当しない自由な発想を実現する取り組み

3. 応募条件

※以下の全ての条件を満たす必要があります。

- 本学に在学する学部生及び大学院生であること（学年は問わない）。
（休学中の場合はご相談ください。）
- グループ（3名以上）での応募とする。
- 教職員の参画も可能とする。
- 活動範囲が原則近畿圏内であること。
（京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、和歌山県、奈良県、三重県）
- 活動期間が原則2025年7月1日～2025年12月26日の間であること。
- 2025年度後期に開催予定のプロジェクト交流会に参加すること。
- 本学WebサイトやSNSにおける大学広報に協力すること。

書類及びプレゼンテーションについて、審査員（地域連携室員）が以下の観点から評価と審査を行います。



地域への理解を深め、地域と協働で行う活動か



参加学生にとって学びになる取り組みか

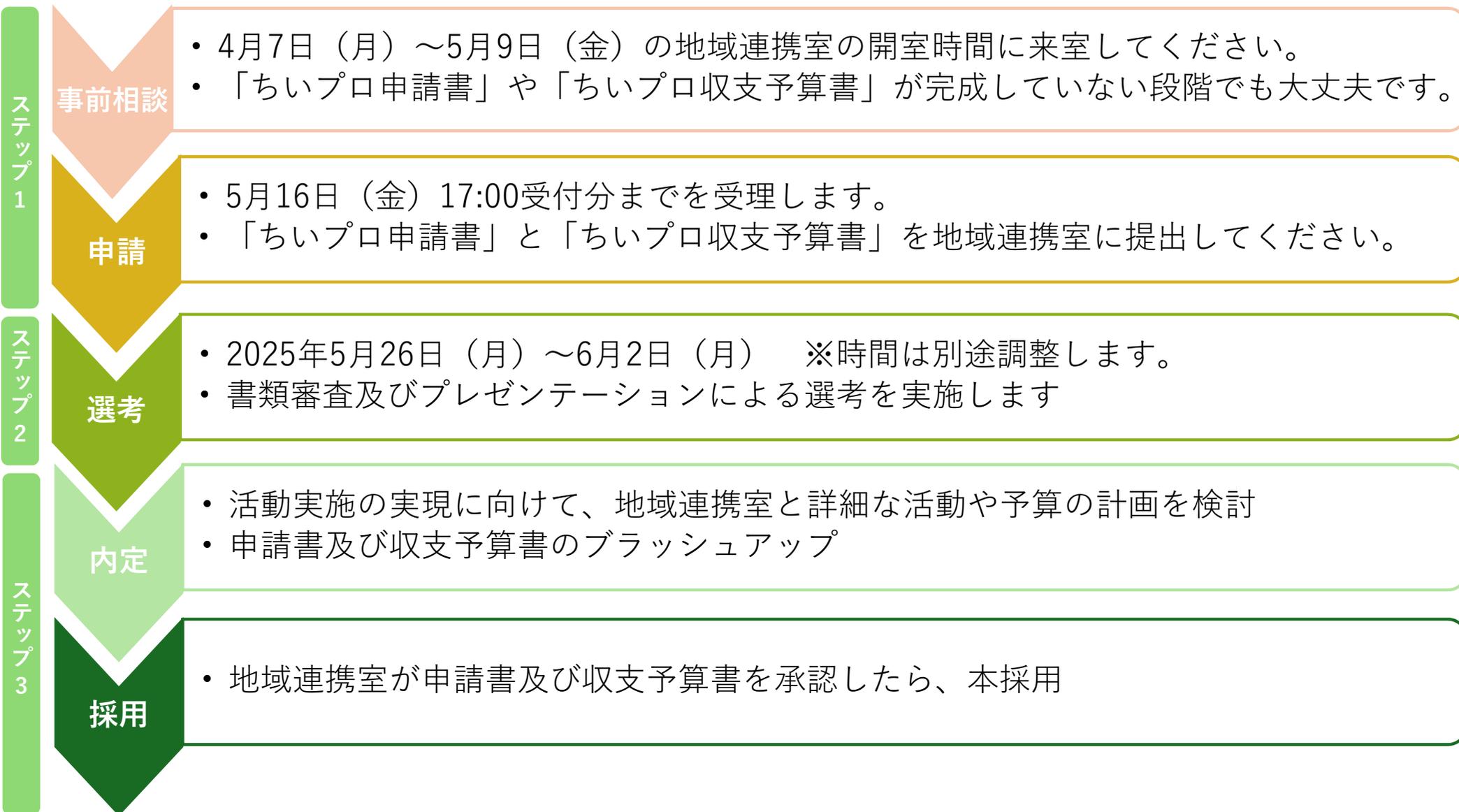


参加学生が主体性を発揮できる活動か



計画の実現性・妥当性

5. 応募の流れ



選考の結果、内定に至らなかった場合、希望があれば地域連携室の支援（資金面以外）が可能です。支援の内容は9ページを参照してください。

6. 採択された場合の年間スケジュール

活動開始

- 2025年7月1日（火）

中間面談

- 地域連携室において、プロジェクトの進捗や困り事をヒアリングしたり今後の活動について相談できる機会を設けます（2025年9～11月頃を予定）

報告会

- 2025年12月～2026年1月頃開催予定のプロジェクト交流会への参加
- 活動成果の報告や地域連携プロジェクトを実施しているグループとの交流

活動終了

- 原則2025年12月26日（金）
- 12月26日（金）までの活動に必要な費用が補助対象となります。

報告書提出

- 2026年1月13日（火）までに「ちいプロ実施報告書」と「ちいプロ収支決算報告書」を地域連携室に提出してください。

1

< 限度額・採択件数 >

採用された個人・団体については、1件あたり10万円を限度に、認められた経費を助成金として給付します（最大5件まで）。

2

< 期間 >

原則2025年7月1日から2025年12月26日までの活動に要した支出について助成します。

3

< 助成対象 >

助成金の原資は主に「学費」と「国からの補助金」です。有効活用のため、8ページの通り、ちいプロに直接的に必要な経費のみを助成対象とします。

7-2. 助成の対象となる経費について

経費項目	用途の例
旅費交通費	事業実施に係る交通費
謝金	外部講師や事業の協力者に対する謝礼金
印刷製本費	チラシ・ポスター等の印刷
賃借料	プロジェクト実施に係る会場利用料
消耗品	文房具、材料費
通信費	郵送料、宅配便等
手数料	金融機関の振込手数料
その他	上記の経費項目に当てはまらない場合



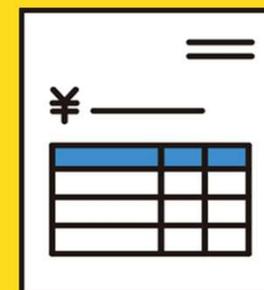
ちいプロの補助金から支出できない場合など、注意点多くあります。
QRコードを読み込んで、「よくある質問」ページを必ず確認してください。

8. 地域連携室によるサポート



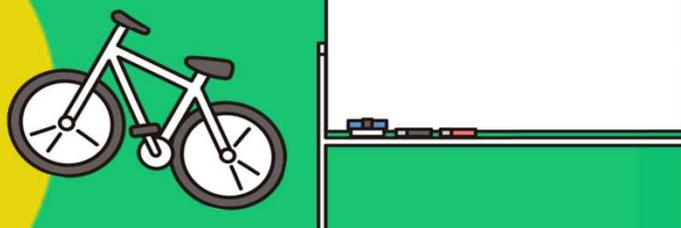
①連携先に関する相談

②地域連携アドバイザーによる活動支援やアドバイス



③経費の使用に関する相談

④物品購入に係る大学アカウントの利用(※1)



⑤物品の貸出し(※2)

⑥学内施設の貸出しに関する相談



(※1)Amazonやプリントパック等を利用する場合は、大学を通じて購入可能です。

(※2)自転車・カメラ・GoProなどの撮影機材、オンラインミーティングツール、ワークショップグッズなど。

(※3)ちいプロに採択されると①～⑥全て、不採択の場合は希望すれば①・②・⑤・⑥のサポートを受けられます。

ゼミのメンバーで
申請したい！

他大学の学生も
メンバーになれる？

こんなことにも
補助金が出る？



よくある質問は
こちらから

<お問い合わせ先>

- 地域連携室（響流館1階）窓口
- 平日9:00～17:00（11:30～12:30除く）
- E-mail： commu-labo@otani.ac.jp

Be Real
寄りそう知性



大谷大学